



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <https://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 魚澤 誠治

TEL 079-281-5151

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 2020年8月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	13,718	△12.2	648	△24.7	635	△26.8	428	△23.0
2019年12月期第2四半期	15,618	12.8	861	32.0	867	34.3	556	56.0

(注)包括利益 2020年12月期第2四半期 445百万円 (△22.9%) 2019年12月期第2四半期 578百万円 (80.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	391.98	—
2019年12月期第2四半期	508.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	28,272	14,752	46.1
2019年12月期	27,678	14,413	46.0

(参考)自己資本 2020年12月期第2四半期 13,045百万円 2019年12月期 12,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	50.00	—	90.00	140.00
2020年12月期	—	50.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	0.4	1,100	△18.2	1,100	△19.8	700	△34.7	640.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	1,153,263 株	2019年12月期	1,153,263 株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	60,081 株	2019年12月期	60,081 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	1,093,182 株	2019年12月期2Q	1,093,245 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は民間設備投資の増加などを受けて、景気は緩やかな回復を続けましたが、新型コロナウイルス感染症の全世界への拡大に伴う影響から経済活動は急速に悪化し、先行きは非常に不透明な状況で推移しました。

国内の建設市場におきましては、民間の設備投資については新型コロナウイルス感染症に伴う景気の低迷により減少が懸念され、厳しい経営環境が続くものと予測されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては当第2四半期連結累計期間において、太陽光発電所を2か所取得するなど、資源の選択と集中による収益拡大に取り組みました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、建設事業セグメントにおいて工事の進捗等による影響により完成工事高が減少したことや、住宅事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間での引渡棟数が前期と比較して減少した影響などから、売上高は前年同期12.2%減の13,718百万円となりました。

利益につきましては、売上高の減少に加えて、太陽光発電所の取得に伴い売上原価が増加した影響により、営業利益は前年同期比24.7%減の648百万円、経常利益は前年同期比26.8%減の635百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.0%減の428百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

## &lt;建設事業&gt;

建設事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響に伴い、売上高は前年同期比20.5%減の4,855百万円、営業利益は前年同期比27.4%減の301百万円となりました。

## &lt;設備事業&gt;

設備事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響に伴い、売上高は前年同期比11.6%増の2,449百万円となりました。営業利益につきましては、収益性の高い物件の完成に伴い前年同期比54.3%増の141百万円となりました。

## &lt;住宅事業&gt;

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて、前年同期と比較して引渡棟数が減少した影響等から、売上高は前年同期比13.1%減の5,319百万円となりました。また売上高が減少した影響により、営業損失80百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

## &lt;不動産賃貸事業&gt;

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、当社において前連結会計年度に不動産収益物件を売却した影響等から、売上高は前年同期比13.8%減の710百万円、営業利益は前年同期比11.8%減の194百万円となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業セグメントに関しましては、当社において新たに太陽光発電所を取得した影響により、売上高は前年同期比3.4%増の382百万円となりました。しかしながら、太陽光発電所の取得に伴い売上原価が増加した影響により、営業利益は前年同期比29.1%減の95百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、当第2四半期連結累計期間に当社において工事代金の回収に伴い現金預金が増加したことや、当社において太陽光発電所を2ヶ所取得し、機械・運搬具が増加したこと等により、28,272百万円（前連結会計年度末は27,678百万円）となりました。

負債につきましては、当社において太陽光発電所取得に伴い長期借入金が増加したこと等により、13,519百万円（前連結会計年度末は13,265百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により14,752百万円（前連結会計年度末は14,413百万円）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、投資活動により1,403百万円減少しましたが、営業活動により858百万円、財務活動により1,305百万円それぞれ増加した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,171百万円（前年同四半期末2,672百万円）となりました。

主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少419百万円及び未成工事受入金の減少618百万円等の減少要因がありますが、売上債権の減少1,174百万円、税金等調整前四半期純利益663百万円及びたな卸資産の減少383百万円等の増加要因により、資金は858百万円の増加（前年同四半期は1,019百万円の増加）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,636百万円等の減少要因により、資金は1,403百万円の減少（前年同四半期は193百万円の減少）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出729百万円等の減少要因がありますが、短期借入金の純増加780百万円及び長期借入れによる収入1,410百万円の増加要因等により、資金は1,305百万円の増加（前年同四半期は64百万円の減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績につきましては、2020年2月13日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルスによる感染症の広がりが2020年12月期の当社グループ連結業績に与える影響は現時点では不明であります。2020年2月13日に公表しました連結業績予想を見直す必要が生じた場合、適時公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	2,391,649	3,137,410
受取手形・完成工事未収入金等	4,313,240	3,138,523
たな卸資産	5,122,282	4,762,985
預け金	44,686	59,587
その他	359,505	487,745
貸倒引当金	△3,077	△2,187
流動資産合計	12,228,287	11,584,064
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	2,995,807	2,798,808
機械・運搬具(純額)	774,772	1,887,989
工具器具・備品(純額)	709,740	699,220
土地	9,244,323	9,131,233
リース資産(純額)	106,759	81,543
建設仮勘定	52,540	532,835
有形固定資産合計	13,883,943	15,131,632
<b>無形固定資産</b>		
のれん	40,000	20,000
その他	20,907	13,982
無形固定資産合計	60,907	33,982
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	588,128	571,698
繰延税金資産	470,662	491,087
その他	491,749	512,191
貸倒引当金	△44,842	△52,370
投資その他の資産合計	1,505,698	1,522,607
固定資産合計	15,450,549	16,688,221
資産合計	27,678,836	28,272,286

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,779,634	1,359,928
短期借入金	2,420,000	3,200,000
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	947,024	1,067,024
リース債務	52,428	36,669
未払法人税等	260,971	208,781
未成工事受入金	2,065,954	1,447,237
賞与引当金	136,711	165,932
役員賞与引当金	20,300	—
完成工事補償引当金	182,310	60,708
工事損失引当金	—	3,237
資産除去債務	63,066	47,500
その他	822,084	800,792
流動負債合計	9,050,486	8,397,813
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	2,908,906	3,469,517
リース債務	60,644	47,732
退職給付に係る負債	541,654	553,990
役員退職慰労引当金	91,891	102,732
資産除去債務	240,821	277,623
その他	370,685	370,524
固定負債合計	4,214,604	5,122,120
負債合計	13,265,090	13,519,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,311,055	11,641,176
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	12,671,317	13,001,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,386	52,148
退職給付に係る調整累計額	△9,522	△8,585
その他の包括利益累計額合計	51,863	43,562
非支配株主持分	1,690,565	1,707,352
純資産合計	14,413,746	14,752,353
負債純資産合計	27,678,836	28,272,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,618,996	13,718,523
売上原価	12,224,059	10,661,801
売上総利益	3,394,937	3,056,722
販売費及び一般管理費	2,533,897	2,408,572
営業利益	861,040	648,149
営業外収益		
受取利息	4,423	3,394
受取配当金	4,186	3,552
持分法による投資利益	5,935	4,042
その他	16,455	11,405
営業外収益合計	31,001	22,395
営業外費用		
支払利息	17,908	15,495
社債利息	165	165
支払手数料	—	12,760
その他	6,371	6,680
営業外費用合計	24,444	35,100
経常利益	867,596	635,444
特別利益		
固定資産売却益	—	38,454
特別利益合計	—	38,454
特別損失		
減損損失	113,734	—
固定資産除却損	3,020	4,499
投資有価証券評価損	—	5,524
特別損失合計	116,754	10,023
税金等調整前四半期純利益	750,841	663,875
法人税等	158,494	209,915
四半期純利益	592,346	453,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,120	25,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	556,226	428,506



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	592,346	453,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,513	△9,237
退職給付に係る調整額	499	937
その他の包括利益合計	△14,014	△8,300
四半期包括利益	578,332	445,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,212	420,206
非支配株主に係る四半期包括利益	36,120	25,452

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	750,841	663,875
減価償却費	247,875	258,889
減損損失	113,734	—
のれん償却額	20,000	20,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	6,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,925	29,220
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,000	△20,300
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	20,682	△121,601
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△17,743	3,237
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,187	13,686
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,705	10,840
受取利息及び受取配当金	△8,610	△6,946
支払利息及び社債利息	18,073	15,660
持分法による投資損益 (△は益)	△5,935	△4,042
固定資産売却損益 (△は益)	—	△38,454
固定資産除却損	3,020	4,499
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	5,524
売上債権の増減額 (△は増加)	△410,764	1,174,717
たな卸資産の増減額 (△は増加)	801,892	383,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	△614,615	△419,706
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	115,212	△618,716
その他	138,694	△215,846
小計	1,186,174	1,144,781
利息及び配当金の受取額	11,551	8,902
利息の支払額	△18,150	△16,894
法人税等の支払額	△160,073	△277,644
その他の支出	△500	△500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,019,001	858,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60	—
定期預金の払戻による収入	40,060	—
有形固定資産の取得による支出	△301,385	△1,636,536
有形固定資産の売却による収入	69,060	252,361
資産除去債務の履行による支出	—	△20,029
無形固定資産の取得による支出	△1,388	—
投資有価証券の取得による支出	△892	△300
その他	1,436	1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,169	△1,403,295
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	480,000	780,000
長期借入れによる収入	420,000	1,410,000
長期借入金の返済による支出	△843,340	△729,389
社債の発行による収入	—	295,625
社債の償還による支出	—	△300,000
リース債務の返済による支出	△57,626	△44,024
配当金の支払額	△54,618	△98,233
非支配株主への配当金の支払額	△8,666	△8,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,251	1,305,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	761,580	760,662
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,664	2,411,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,672,244	3,171,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。